

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年11月27日

計画の名称	世界初の営業運行となるDMVを軸とした観光による徳島県南部及び高知県東部地域活性化計画															
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	徳島県															
計画の目標	・人口減少の進む、徳島県南部及び高知県東部の県境にある「阿佐東地域」において、線路と道路の両方を走ることが可能なDMV（デュアル・モード・ビークル）の「世界初」となる本格的営業運行を目指している。 ・DMV導入に合わせ周辺道路等の面的整備を実施することで、徳島県南部と高知県東部とのシームレスな交通体系と広域的な観光ルートを形成し、交流人口の増加による地域社会の維持および活性化を図る。															
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		1,166	A	1,166	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28	R2	R4
1	【徳島県・高知県 共通目標】阿佐海岸鉄道阿佐東線の年間乗客数を4.4万人（H28）から5.5万人（R4）に増加（1.1万人（25％）の増加） 阿佐東線年間乗客者数を測定する。 （阿佐東線の年間乗客数増加率）＝（評価時点の年間乗客数-H28の年間乗客数）／（H28の年間乗客数）			
		44000人／年	50000人／年	55000人／年
2	【徳島県・高知県 共通目標】阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数を0千人(H28)から2千人(R4)に増加（2千人（皆増）の増加） 阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数を測定する。 (阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数の増加数)=(評価時点の阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数)-(H28の阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数)			
		0人／年	2000人／年	2000人／年
3	【徳島県 単独目標】徳島県南部地域（7拠点施設）における観光入込客数を12.3万人(H28)から14.8万人(R4)に増加（2.5万人（20.0％）の増加） 徳島県南部地域（7拠点施設）における観光入込客数を測定する。 （観光入込客数の増加率）＝（評価時点の観光入込客数-H28の年間観光入込客数）／（H28の年間観光入込客数）			
		123000人／年	135000人／年	148000人／年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、5.2％となる。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	改築	（主）阿南鷲敷日和佐線 （北河内工区）	線形改良 L=0.18km	美波町	■	■	■	■	■	45		-
	A11-002	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	（主）日和佐小野線（奥 河内～恵比須浜工区）	舗装補修 L=2.5km	美波町		■	■	■	■	4		-
		路盤含む																	
	A11-003	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	（一）日和佐牟岐線（奥 河内～山河内工区）	木製ガードレール L=3.4km	美波町	■	■	■	■	■	95		-
	A11-004	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	（一）日和佐牟岐線（奥 河内～山河内工区）	法面对策 L=3.0km	美波町	■	■	■	■	■	112		-
	A11-005	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	（一）日和佐牟岐線（山 河内工区）	舗装補修 L=3.2km	美波町	■	■	■	■	■	28		-
		路盤含む																	
	A11-006	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	（一）中部山溪轟公園線 （平井～小川工区）	法面对策 L=1.0km	海陽町	■	■	■	■	■	598		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-007	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	（一）金目穴喰浦線（穴 喰浦工区 ）	法面对策 L=1.0km	海陽町	■	■	■	■	■	65		-
	A11-008	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	（一）金目穴喰浦線（穴 喰浦工区 ）	舗装補修 L=1.0km	海陽町		■	■	■	■	2		-
		路盤含む																	
	A11-009	提案	一般	徳島県	間接	阿佐海岸鉄 道株式会社	-	推進事 業	DMVの線路から道路への結 節点の整備（阿波海南駅 ）	道路-線路モード変換設備	海陽町	■	■				29		-
	A11-010	提案	一般	徳島県	間接	阿佐海岸鉄 道株式会社	-	推進事 業	DMVとバス等との乗換拠点 整備（海部駅）	駐車場整備	海陽町	■	■				24		-
	A11-011	提案	一般	徳島県	間接	阿佐海岸鉄 道株式会社	-	推進事 業	DMVとバス等との乗換拠点 整備（穴喰駅）	駐車場整備	海陽町	■	■				8		-
	A11-012	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	国道	修繕	（国）国道１９３号（小 川工区）	法面对策 L=0.5km	海陽町			■	■	■	10	-	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-013	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	（主）阿南鷲敷日和佐線 （北河内～赤松工区）	法面对策 L=5.0km	美波町			■	■	■	100		-	
	A11-014	道路	一般	徳島県	直接	徳島県	都道府 県道	修繕	（主）日和佐小野線（奥 河内～恵比須浜工区）	法面对策 L=1.6km	美波町			■	■	■	46		-	
											小計							1,166		
											合計							1,166		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
徳島県交通政策課にて評価を実施し、その結果を徳島県公共事業評価委員会に報告し、参考意見を聴取	令和6年11月
	公表の方法 徳島県ホームページ

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	DMVの運行に合わせた阿南驚敷日和佐線等6路線道路整備等による拠点施設へのアクセス向上など一定の効果発現が認められる一方で、新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、阿佐海岸鉄道阿佐東線の年間乗降客数は55,000人（目標値）に対し、46,290人（R5年実績値）、徳島県南部地域への観光入込客数は148,000人（目標値）に対し、79,989人（R5年実績値）と目標達成には至らなかった。 一方、アフターコロナに移行してからの主要観光施設等の取組や基幹事業による拠点施設へのアクセス向上の効果発現等により、阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数は3,778人（R5年実績値）と目標値の2,000人に対し1,778人（88.9%）増加した。また、全国メディアを通じて県内外の人へのPRができたことも、目標達成に寄与したと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

未完成の事業については、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し計画的に事業を推進する予定。
（未完成事業）A11-004、007、008、012、013、014

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	阿佐海岸鉄道阿佐東線の年間乗客数を4.4万人（H28）から5.5万人（R4）に増加（1.1万人（25％）の増加）		
	最 終 目 標 値	55000人 / 年	目標値に対して、8,710人（約16％）の減少となった。H29年度からR元年度にかけては目標値を上回ったが、令和2年度以降は目標値を下回った。原因としては、基幹事業による拠点施設へのアクセス向上など一定の効果発現が認められる一方で、令和2年4月から始まった新型コロナウイルス感染症による入国制限措置等により、インバウンドの需要が減少したことが考えられる。 R5実績値：46,290人 出典：阿佐海岸鉄道株式会社による報告
	最 終 実 績 値	46290人 / 年	
2	阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数を0千人(H28)から2千人(R4)に増加（2千人（皆増）の増加）		
	最 終 目 標 値	2000人 / 年	アフターコロナに移行してからの主要観光施設等の取組や基幹事業による拠点施設へのアクセス向上の効果発現等により、阿佐東地域におけるDMV観光ツアー客数は3,778人（R5年実績値）と目標値の2,000人に対し1,778人（88.9％）増加した。また、全国メディアを通じて県内外の人へのPRができたことも、目標達成に寄与したと考えられる。 R5実績値：3,778人 出典：阿佐海岸鉄道株式会社による報告
	最 終 実 績 値	3778人 / 年	
3	徳島県南部地域（7拠点施設）における観光入込客数を12.3万人(H28)から14.8万人(R4)に増加（2.5万人（20.0％）の増加）		
	最 終 目 標 値	148000人 / 年	目標値に対して、68,011人（約46％）の減少となった。H29年度からR元年度にかけては目標値を上回ったが、令和2年度以降は目標値を下回った。原因としては、基幹事業による拠点施設へのアクセス向上など一定の効果発現が認められる一方で、令和2年4月から始まった新型コロナウイルス感染症による入国制限措置等により、インバウンドの需要が減少したことが考えられる。また、一部施設が休館により、約35,000人の来館者数が減少したことも考えられる。 R5実績値：79,989人 出典：拠点施設管理者による報告
	最 終 実 績 値	79989人 / 年	